



認定NPO法人 認知症予防ネット神戸

認知症予防講演会 テーマ「認知症の人へのケアを考える」

講師 **小川 敬之 先生** 九州保健福祉大学 作業療法学科 教授

2014年9月21日（日）甲南大学平生記念セミナーハウスにて

今回は、260人のご参加で満席のなか、来賓として東灘区役所 小泉部長にご挨拶を頂き、九州でご活躍の小川先生に「認知症の人のケア」の現場から、具体的で分かりやすいお話をして頂きました。

ある日 ふと口ずさんだ古い唄「水師營の会見」に膝をたたいて拍子をとる認知症Aさん、どんなにコミュニケーションを取ろうとしても反応の無かったAさんが、この古い唄に気持ちをほぐしてくれました。また、今までどうしても歩かなかったBさんが飼っていた「亀」の散歩に喜んで付合っ歩いてくれる……。

こんな思いがけない事が認知症の人のかたくなな心をほぐしてくれる、それには介護する側が常に認知症の人の気持ちを深く汲み取っていくことが大切です。

認知症の人は常に「不安」や「さびしさ」とときには「怒り」もあり、物忘れがひどくても私達と何ら変わらない感情を持っていますが、ただ状況を上手く整理出来ずに途方にくれているのが現実です。その心の痛み私達は上手に寄り添っていくことが大切です。

認知症の人にも各々これまで歩んで来た人生があり、誇りがあります。その人の尊厳を見守りながら心を通わせて介護をしていくことが必要だと思います。このお話の後、最後に先生はみなさんと「なごり雪」を歌って終わりましたと歌い出され、会場のみなさんも一緒に楽しく歌いました。

参加者の声 ***** 「認知症の人へのケアを考える」の講演を聞いて

小川先生の講演を聞いて認知症になってる人の立場で物を見る大切さを痛感した。自分達の物差しで認知症の人の行動等、考えても無理でありその人の為にならない事が良く分った。そう言う人と一緒に環境にひたって、初めてその人の苦しみ分かる事が理解できたし、もっと経験をつんで色々なケースを経験する必要性を痛感した次第である。

御影北部民生委員 田中 健彦 *****



- ・認知症予防講演会 小川 敬之 先生 「認知症の人へのケアを考える」
- ・第4回日本認知症予防学会 学術集会 報告
- ・認知症予防専門家・認定認知症領域検査技師 発足記念講演会 報告
- ・御影北・認知症予防と支え合いのまちづくり運動
- ・認知症予防カフェ
- ・賛助団体 NPO法人地域福祉会 ああす 紹介
- ・脳いきいきステップ アップクラブ カフェ&運動 案内
- ・認知症予防と物忘れ相談会 案内
- ・脳いきいき友の会
- ・歩こう会
- ・脳いきいきクラブ
- ・現在の会員数
- ・寄附金のお願い
- ・アロマセラピー 秋の香り
- ・編集後記



第4回 日本認知症予防学会 学術集会 認知症予防とまちづくり …コミュニケーションの再構築…

9月26日（金）～28日（日）にかけてタワーホール船堀において第4回日本認知症予防学会学術集会が開催されました。メインテーマは「認知症予防とまちづくりーコミュニケーションの再構築ー」でした。伊藤理事長が「早期に医療や予防に繋ぐ御影北地域の活動ー物忘れ検診と早期支援・当事者の会の取り組みー」と題して発表しました。質疑応答も活発におこなわれ注目を集めました。認知症予防とまちづくりも本人の視点で、当事者の声を聴いて進めようとの演題が多く集まりの多い学術集会でした。



（第4回日本認知症予防学会は神戸市で開催されます）

認知症予防専門家・認定認知症領域検査技師 発足記念講演会

認知症予防学会の認定専門資格『認知症予防専門家（127名）・認定認知症領域検査技師（12名）』発足記念講演会が9月25日木曜日、東京ステーションコンファレンスにて開催されました。長谷川式認知症スケールの開発者であり、認知症診療の第一人者である長谷川和夫先生が記念講演会講師としてご講演くださいました。当法人からも伊藤、稲波、松井の3名の認知症予防専門士が出席しました。長谷川先生の目指されている市民が市民を支えるという思いは、私たちの地域での予防の取り組みに一層の励みとなりました。

